

広報

(毎月10日発行)



# かわにし

平成2年 1/10 No.377

人口の動き	
— 1月1日現在 —	
男	4,520 (-7)
女	4,569 (-7)
計	9,089 (-14)
世帯数	2,255 (-10)
( )は前月比較	

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111) (FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



# 迎春

児玉画伯寄贈画

「再会」

六曲一双 昭和37年作



## 休日救急医

- 1月14日 山口医院(袋町) ☎52-2174
- 15日 大坪医院(四日町) ☎57-6100
- 21日 富田医院(神明町) ☎52-3269
- 28日 中条病院(中条) ☎57-3018
- 2月4日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018
- 11日 大島医院(川原町) ☎52-2957
- 12日 山口医院(下条) ☎55-2003



する考えはないか。

南 雲 町長

近隣市町村と事業内容や運営上のちがいなどから、数字のみを比較することは適当でない。

次に述べることで、将来を含めて、関係農家の実質負担を軽減する努力をしている。

一、農業用ため池用水の克雪利用計画がある。用水の利用料は、土地改良区の収入となる。したがって、ダム管理費の軽減につながる。

二、私も、同理事長に就任九カ月近くなる。ようやく、全容が分かりかけてきた。ダム管理の合理化を進める要素はかなりある。地方自治体の行財政改革に比べて、土地改良区の自助努力は不十分だ。もちろん、内部改善だけで解決できる問題ではないが、理事会で十分協議し、具

体化していきたい。

三、幸い、政府は後期対策の一環として、土地改良事業の農家返済金を軽減するため、一千億の基金を作った。年間返済が十

アールあたり三万円か、一戸あたり二十万円かのいずれかを対象としている。調査結果では、二十万円以上の農家が二五三戸

で、金額は二千六百五十万円と試算された。県では、これに呼応して県単制度の新設を図るよう前向きな姿勢を示した。町でも具体策を見極めながら対応したい。

四、県は事業で造成された農道などは、その後、順次町道に認定し、町費で舗装、維持管理している。これらの工事費や維持管理費は、当然ながら関係農家の負担は頂いていない。こうした実態もご理解いただきたい。

## アフリカに救援米を

水品 忠 雄 議員

① 挙家離村者の土地所有状況を調査し、適地を公共用地として先行取得してはどうか。

② 町民が不動産処分の際、気軽に相談できる機関を役場内に設置できないか。

③ 北魚・守門村では、平成元年度からアフリカに救援米を二トンを目標に拠出している。町でも取り組む考えはないか

南 雲 町長

① 公共用地の先行取得は、中子や砂坂、三領原などがあり、企

業誘致用地として即応態勢にあるが、いまだ有効活用がなされないというのが大部分である。

さらに、このうえ明らかかな日的不な土地の先行取得に対し、皆様からご理解得られるかどうかとなると、慎重を期したい。

このようなことから、挙家離村者の土地所有状況を、現時点では時間を費やして調査把握する意義は、見いだせずにいる実態だ。

② 不動産収分についての相談機関としては、農用地の場合は、

農業委員会に一任したい。

また、山林原野なども山間地の場合、その大方が農地に付

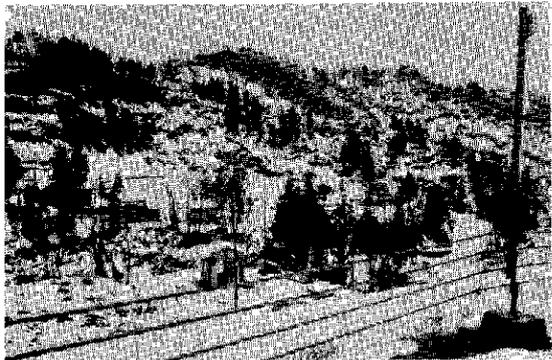
随していることが多く、あわせて農業委員会でご心配いただくことが土地利用対策上も、当事者にとつても都合がよいと思う。

③ アフリカ救援米は、米の過剰に起因する転作ということのいかんを問わず、考慮にあたいするものと思う。行政機関が率先して取り組むことは困難がつきまとい、民間団体などの活動に期待したい。

仮に町で取り組んだ場合の問題点としては、義援活動として取り組むべきで、転作の手法として取り組むのであれば、他の方法が有利と思う。

また、募金をし、その金で米を購入して贈る方法は、食の好みの中から、日本一うまい米でも必ずしも喜ばれない。高価な米よりも安い米を多く贈ることや金を贈ることも考えられる。

これらのことから、米白給均衡化対策に寄与しないということにもなりかねないので、慎重な対応が必要である。



開村した越ヶ沢(元・12・20)

## 保育園児の冬季送迎を

高橋 重 議員

① 山菜取りや山ユリを掘りに来る

② 冬期間、保育園児のマイク口

バス送迎を。

南 雲 町長

① 町の花「山ユリ」に寄せる町民の思いはひとつである。それを、心ない人の手によって根こそぎ持ち去られる無念さは、ご指摘のとおりだ。

森林資源、山菜なども含めて造林推進協議会で、具体的な対策について協議している。しかし、適切な入山規制のあり方も研究しているが、最終的な結論は出ていない。

新年度予算で、山ユリを増やすための、球根増産の費用を計上したい。

町外者の入山を厳しく規制することで、かえって町のイメージをそこねることにならないの

―次ページへ―



町外者の入山禁止看板 (元・12・20 上野)

かという懸念もあるようである。資源保護の看板を逐次、設置してまいりたい。同時に山林パトロールの励行を一層強化したい。

② 現段階では、なかなかご要望に添えうるような状態ではない。現状、問題点について住民課長からお答えする。

小林住民課長 必要と思われる地域は、通年マイクロバスを運行している。距離に関係なく、冬期間のみ運行することは、現段階では無理である。その理由

# 松葉荘の機能的経営を

南 雲 教 議 員

松葉荘の食堂部門が、休業の日が多い。善後策は。また、水浴客の多い夏季を当て込んだ施設を充実する考えはないか。

南 雲 町 長

松葉荘の実情を分析すると、利用客の人数からしても、宴会ご休息が主体となっている。また、場所から見て、ドライブインの要素も強い。利用客のためにも、食堂の存在感は大きいものと認識している。

しかしながら、開店休業の状

は、できるだけ子供は歩かせていただきたい。雪の中を歩けない、滑る道が歩けない、これでは将来が思いやられる。それから冬期間の水跳ね、道の滑るのは遠近に関係ない。そのためにマイクロとなると全町の送迎となり、不可能である。小さいうちから滑る道をいかにうまく歩くか訓練しなければならぬ。やはり、現状では送迎する段階ではないし、果たしてそれが本当の意味の行政サービスであるか疑問を感じる。

況がつづいており、ご迷惑をかけている。その理由は、配膳室がないということもあるが、やはり人手不足が原因である。現状では単に、宿泊客の食堂にとどまっている。

この施設は、開設七年を経過しており、お金をちょうだいする施設としては、いささか旧態依然の状況もあり、新年度は、相当の施設改修工事を行いたい。また、従業員問題は、やはり経費の増高はさげられないが、できうれば正職員の配置ということから根本的に出発しなかなければならないと思う。

## 委員会付託

条例の新設など重要案件が提出されたとき、議会はその担当する常任委員会に必要事項を調査検討してもらいます。

そして、その結果を、委員会から聞いたうえで、改めて本会議で審議決定することになります。

このことは、町議会会議規則第二十九条第一項に定められています。



松葉荘野外ステージでのコンサート (二・九・一七)

# 町の総面積を変更

## — 国土地理院から通知 —

平成元年十一月十日付け、官報公告と国土地理院からの通知で、町の総面積は、七三・五五平方キロメートルとなりました。今までの七四・一六平方キロに対し、〇・六一キロ(六一ヘクタール)減ったことになりました。これは、同院が昭和三十年十月一日現在で発表した当時は、五万分の一の地図でプランメーター測定したのもでした。今回は、二分五千分の一の地図を座標測定機(デジタルイザ)で測ったものです。従って、前回よりは、精査した結果といえます。なお、今回の発表では、十日町市は一・三三平方キロ増え、津南町では、一・一一キロ減りました。中里村は、湯沢町との境界に未定地があり、両町村の合計面積で表示されただけにとどまりました。

## 臨時の

### 保母職員募集

期間 一月下旬から十一月まで  
勤務先 南原保育園  
賃金 一日四千円〜四千三百円  
保母の資格は、無くてもかまいません。  
申し込みは、福祉係まで

平成2年度 農業標準賃金  
=4月1日から=

男子	6,200円
女子	5,700円

一日当たり

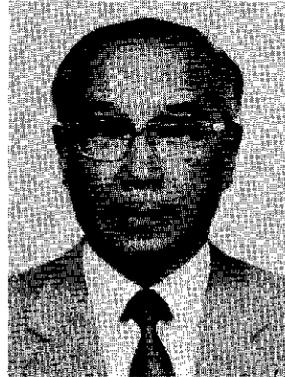
# うま 午年によせて



初春のおよそいびを  
申しあげます  
平成三年一月九日

川西町議会議長

押木元男



瑞氣未だ昇る途  
庚午新ま

川西町長

南雲春雄

馬は、人間と意思のかよう家畜として、むかしから親しまれてきました。でも、最近馬を見かけることが少なくなりました。(もちろん、町には一頭もいません。)

八万二千頭——これは、日本で飼われている馬の一番最近の数です。

さて、午年にあたり、ことは馬力アップして大いに頑張りますか。それとも馬耳東風……マイペースでのんびりいきますか。いずれにしても、ウマく乗り切りたいものです。

恒例となりました、町長と議会議長から、町民あてに新年のご挨拶をいただきました。

合わせて、町には八代の午年生まれの方々が六百六十二人おられます。全町民のおよそ七パーセントにあたります。

輝かしい新春にあたり、午年生まれで、それぞれ一月一日生まれか、その年の一番早い日に生まれた方を紹介します。

# 初場所は千代の富士

小川駒治さん〔岩瀬〕 明治27・10・20生（95歳）



いままで通りに過ごさせて、人さまのお世話にならないように

いい年を過ごしたいと思っています。夏場は草取りと、花づくりを楽しんでいます。昭和二十八年初場所からずっと相撲の星取表を保存しています。その当時の横綱は、千代の山と東富士です。去年の九州場所で、千代の富士の優勝を願っていました。が、残念でした。初場所はぜひがんばって欲しいものです。

# 手先も体も動かして

黒嶋松雄さん〔高原田〕 明治39・1・9生（84歳）

体の調子も良いし、食事も口に合うものを作ってもらって平らに食べられます。夏場は、家の周りの掃除をします。目が悪くなってきました。でも、若いときから裁縫をやっていたので、いまでも手下げ袋や、亀川（きっこう）をかたどった布で、座布団などを毎日作っています。



# 一人でも安心

水品マツイさん〔三領〕 大正7・1・1生（72歳）



おとし、おじいさんが亡くなりいまは一人暮らしです。でも、町から緊急通報システムを付けてもらって安心して大丈夫です。大雪にならないことと、健康を願っています。足には自信があったけれど、痛くなることもあります。

# 一年間を無事に

高橋一嘉さん〔中屋敷〕 昭和5・1・1生（60歳）

健康で一年間を無事に過ごしたいものです。なかなか厳しい世の中で商売も大変ですが、一生懸命やりたいと思っています。去年は、還暦の旅行に三重県方面に同級生と行って来ました。楽しかったです。



# 元気な内孫を

高橋ミヨさん〔中屋敷〕

昭和5・1・1生（60歳）



健康で……と願っています。二月に長男の子供が生まれる予定です。楽しみにしています。外孫はいますが、初めての内孫で、元気を赤ちゃんを願っています。

# 健康と

# 和合が大切

田中英雄さん

〔発電所通り東〕

昭和17・1・1生（48歳）

去年は、家族から病人が出たので、なんといっても健康であつて欲しいと思います。それと家庭の和合が大事なことだと思ひます。年寄りや子供の交通事故が本当に増えています。十分注意したいと思つています。



# 明るく健康で

太田ハルさん〔沖立〕

昭和17・1・1生（48歳）



家族みんなが健康であるように願つています。なかなか毎日が忙しくて暇もありませんが、どこかに旅行にでも行つてみたいと思ひます。

# 夢は最果ての地へ

高野典子さん〔中仙田〕

昭和29・1・2生（36歳）

健康第一です。娘も同じウマ年生まれです。去年は待望の自動二輪の免許を取得しました。安全運転で楽しみたいと思ひます。夢は、主人と二人で北海道にツーリングすることです。



# 日本一周が夢

小幡いなみさん〔仁田〕

昭和41・1・21生（23歳）



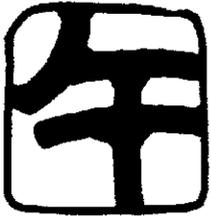
きものの染色関係の会社に勤めていきます。振りそでなどを作つていきます。結構きつい仕事です。夢は、仲間といっしょにバイクで日本一周することです。なかなか忙しくて実現するのはかなり先かな？

# 中学校では体操部に

米山幸子さん〔室島〕

昭和53・1・8生（12歳）

平和で楽しい年になつて欲しいと思ひます。勉強では体育が大好きです。中学生になったら、体操部に入つて、マットと鉄棒を思いつきりやってみたいと思ひます。





# 川西郷のわらべ唄

岩瀬 金子 幸 作



雪まつりで「鳥追い」を再現した仙田小の児童ら  
—1.3.4

れか鳥追いだ 千太郎どんの鳥  
追いだ 柱切つてシラ切つて  
大俵へ入りこんで 大俵へセキ  
がねえか 京坂のおぼばの  
ソのしつたへホーイホーイ。  
裏のおかめ 鳥追つてくん  
れ スズメ スワドリ 立ち上  
がれホーイ ホーイ。  
お菊、お菊 鳥一羽売つてく  
れ、何鳥売るに、朝げはカラス  
日ののき(日中)やトンビ よ  
さり(夜)はフクロ フクロフ  
クロ ホーイ ホーイ。

## もつくらもち

もつくらもちどこへ行つた  
つつ(槌)どんのおつ通りだ  
家にか外にかお宿にか そこら  
に居るものカツぶせ。

## 彼岸の迎え、送り火

じじたち、ばばたち、この明か  
りについてござしやれ、ござ  
しやれ(彼岸の入り)  
じじたち、ばばたち、この明  
かりについて 中んだちや召し  
上がれ、召し上がれ(中日)  
じじたち、ばばたち、この明  
かりについて、行がしやれ

行がしやれ へつびやまむし  
にくつつかねえようにして  
くだされ してくだされ(終わ  
りの日)

## 中の中の坊んたち

んな(お前)なぜこう背がひ  
ーき(低い)山のナスの木に押  
されて こう背がひーき、  
「一ちよう何文だ」「三文  
だ」「一文に負けれ」  
なんまんだぶつ ありがてえ  
鎮守様のサカキ押しましょこ  
こらか まだまだ ここらか  
まだまだ そこらでよかる。

## お月さんの子守唄

おのさまどつち いばらの  
影で ねんねを産んで おせん

にばせよか おまんばせて  
油買いにやつたれば 油屋の前  
で 油一升こぼした。

その油どうした 次郎どんの  
犬と 太郎どんの犬が みんな  
なめてしまった しまった。  
その犬どうした 太鼓に張つ  
た その大鼓どうした お寺へ  
上げた そのお寺どうした よ  
つべな(昨夜)の火事で みんな  
な焼けてしまった その灰どう  
した 今朝のあらしで みんな  
立ってしまった。 しまった。

## がらがらお芳

いちリンリンリン がらがら  
お芳 お芳が大きくなって上  
田へやられ 上田はちらちらシ

## 悲しい子守唄

メ支度 家は菜種の花ざかり。  
子守りっ子は楽のようであら  
いもの おつ母さんにしかられ  
子に泣かれ 早く時節が来たな  
らば ふろしき包みにげたさげ  
て お父さんサイナラまた来ま  
す おつ母さんサイナラもう来  
ない 来ないと言わずにまたお  
いで や(嫌)のこと香煎(こう  
せん)親が大事 親が大事。  
一にいじめられ 二に憎まれ  
三にさべられ 四にしかられ、  
五にゴウゴウ泣く子をばされ  
六にろくなんも食べさせないで  
七にシメシまで洗わせられて、  
八つやになり 九つ小突かれ、  
十でとうとう逃げ出した。

# 昔を今に伝えたい



おめでとうございます。新し  
い年をことほぎ、みなさまのご  
多幸をお祈り申し上げます。

三重県の桑名市を訪れたのは  
川西町史の編さんが終わった直  
後でした。博物館のご厚意で、  
「柏崎日記」を見せてもらい、

山谷組村々の記述を見つけた  
ときは小躍りしました。みなさ  
んにもぜひ読んでいただきたい  
と思い、昨年はその紹介で一年  
が過ぎたことになりました。

連載してまもなく、日本書籍  
株式会社常務取締役の市川昭二  
先生(房子夫人は岩瀬出身)か  
ら、「NHKも柏崎日記をとり  
あげる」と伺い、五月に、「幕  
末転動物語」となって放映され  
たときはうれしく思いました。

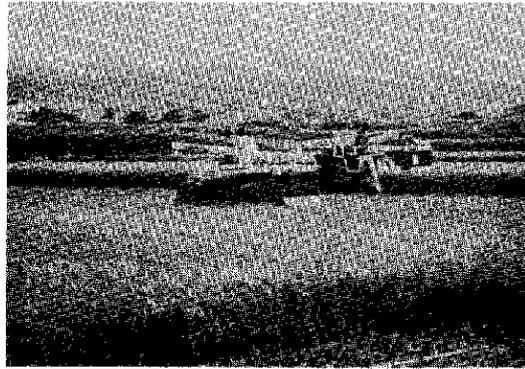
本号には、正月にちなんで「川  
西郷のわらべ唄」を特集してみ  
ました。五年ほど前に沖立、上  
野、野口、岩瀬のおばあさんた  
ちからお聞きしたものです。  
封建時代をしたたかに生きた人  
たちの考え方や、喜び、悲しみ  
が、今のしあわせな世の中につ  
ながっていることをわかっても  
らえますでしょうか。

ことしもまた、千手、上野、  
橋、仙田のうずもれた歴史を、  
可能なかぎり掘り起こしてい  
きたいものと心を新たにしてい  
ます。ご声援ください。

# 新しい嘱託員…… ①

中島町	市川幸治	沖伊原	立友田	藤数	伸治
山野田	柳田一	高坪	友田	羽鳥	徳一
西通	藤一	霜	山	村	武
東通	利和	鶴	山	丸	衛
ア	千春	上	丸	山	利
パート	夫昭	元	丸	丸	夫
栄	秀幸	新	丸	丸	強
県	直幸	町	丸	丸	行
朝	夫宏	新	丸	丸	也
四	健夫	三	丸	丸	郎
東	市郎	木	丸	丸	作
上	仁作	寺	丸	丸	男
中	竜平	温	丸	丸	弘
田	勝義	仁	丸	丸	夫
神	幸男	野	丸	丸	正
学	英一	四	丸	丸	雄
中	真夫	原	丸	丸	一
寺			丸	丸	治
木			丸	丸	

稲刈り作業 (元・9・10沖立)

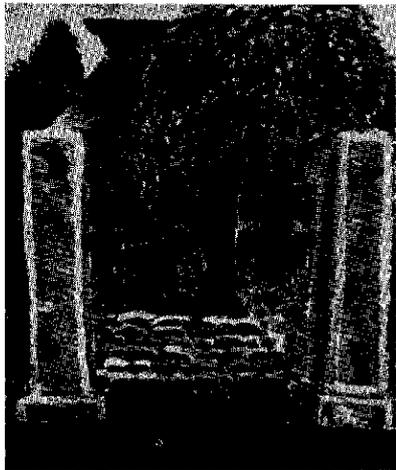


農林水産省では、二月一日現

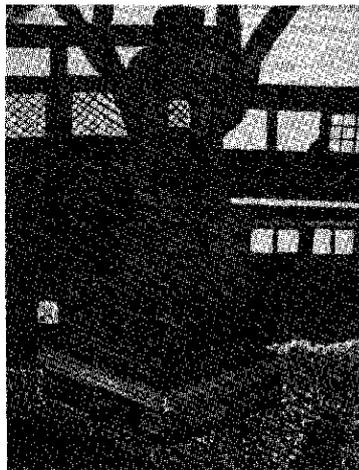
# 農家の皆さん ご協力ください

在で、「世界農林業センサス」という統計調査を実施します。この調査は、五年に一回行われ、農林業を営む農家が対象となります。一月下旬から二月にかけて、お近くの調査員が各世帯を訪問し、農林業の経営状況などをお尋ねします。調査した事項は、統計を作成するためだけに使われるもので、個人の課税などの目的に使うことは法律で禁じられています。ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

〓 総務課 〓



1年 中村 将和 君



2年 佐藤 賢 君



2年 丸山 安紀子さん

## ちいさな展覧会



3年 田村 真一 君



2年 高橋 千恵子さん



1年 清水 孝 君

川西中学校

18

(2月号は千手小学校です)

# ふるさととは

## 訪れてこそ

### 練馬区 涌井リセさん

(中仙田出身)



私は現在、東京都練馬区光が丘に住んでおります。

十一月六日、久しぶりに紅葉のふるさと中仙田を訪ねました。実家では今、弟夫婦二人だけの生活です。夕食には、近くの叔母も招いて歓待してくれました。

翌七日は、高齢者教室が松葉



善意 (敬称略)

一般寄付金

高橋 利一 (高原田) 五万円

広報発行に

涌井 セリ (練馬区) 一万円

高橋 ミサオ (目黒区) 一万円

匿名希望 (文京区) 二万円

荘で開かれるとのこと。同じ年代の方々にお会いできるのじゃないかと、誘われるままに同行しました。

白倉、岩瀬、赤谷、中仙田の四部落の会員が、一堂に集まりました。役場の方が二人お越しになり、今日は終了式とのことでした。最初、精勤だった方々に賞状授与があり、続いて映画二題が写されました。その後、宴会となり、和気あいあいのうちに進められました。中仙田の方々とはもちろんのこと、外の部落の方々とも、おたがいに若いころの話が尽きませんでした。

昔から「ふるさととは遠きにありて思うもの」といわれていきます。でも、今は交通の便がよくなり、関東方面はさほど遠いとはいえない時代です。私は「ふるさととは訪れてこそ」人情の温かさや、四方をとりまく山河の思い出に懐かしさを、しみじみ

と味わえるのだと深く感じ入りました。

九日には、かつて教員生活の振り出し地小脇分教場を、弟が案内してくれました。あいにく道路工事で高倉回りだったため、あの怖かった釣り橋は見る事ができませんでした。その代わり、国際村を見学することができました。トンネルをくぐり、

いろは坂ならぬ坂道を下り、ようやく小脇へたどり着きました。学校は、過疎で廃校になっていました。村もすっかり変わりました。感無量の思いでした。そのあと「川西町史」で予備知識を得ていた赤谷神社の大ケヤキをカメラに収めることができました。

冬季の豪雪に備えての道路改修といい、道路沿いに雪中用車庫の確保といい、雪国ならではの工面が随所に見られました。毎月「広報かわにし」を愛読させていただくおかげで、町の発展や文化の向上が進められている様子をつぶさに知ることができます。ありがとうございます。

「ニッポン全国むらおこし展」 「雪のイベント」 などなど、郷土の発展に向けてのご配慮に感謝してまいります。川西町の発展を心からお祈り申し上げます、粗文を終わります。

## あなたの胃

### 大丈夫ですか？

胃がんは備えから

日本人に多いといわれている胃がんの死亡者の三割は胃がん一です。でも、胃がんも検診技術の発達により早期に発見され、治療されるため少しずつ減ってきました。

町の状況は、この五年間にがんとくくなった人は一〇二人です。そのうち、胃がんは、四十二人、全体の四割で全国平均よりも、一割多くなっています。なぜ、全国では減っているのに、町では減らないのでしょうか？

胃検診の受診率の高い市町村では、胃がんによる死亡率は少ないといわれています。町に住む四十歳以上の



人の受診率はおよそ二割、三割沼では最下位、ここに原因があるかも知れません。町の胃がんによる死亡者の多くは五十代以上で七十代が一番多くなっています。よく、「がん年齢」ということがいわれます。これは、四十歳を過ぎるとがんが、急激に増えるからです。胃がんは、早く発見されれば、治る率が高いのです。特に自覚症状のない早期のがんは、九割以上治るといわれています。

年だからといって、検診を受けない人がいます。年齢が多くなればなるほど胃がんになる率は高くなります。大丈夫と思っている人は何を根拠にそう思っているのでしょうか。

一年一回の検診を受けてこそ、大丈夫といえるのです。まだ一度も胃検診を受けていない方はぜひことしは受けてみてはいかがでしょうか。年間二十回、各地区で開かれます。待ち時間を含めても、一時間ほどで終わります。また、四十歳以上の方は、おおよそ一万六千円を負担いただくこと、自分の健康状態を確認することのできる「人間ドック」の補助制度も実施しています。

# 戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

高橋 由紀奈 雅明 二女 中仙田	野澤 貴宏 敏子 二男 野口
高橋 舞 裕子 長女 寺尾	柄澤 真紀 雪子 三女 沖立
江口 克利 照美 長男 小白倉	中村 有希 庄平 長女 大白倉
丸山 直哉 洋子 長男 根深	市川 伸 栄町
中川 貴博 信男 二男 仁田	樋口 民子 中仙田から
南雲 享 秋 長男 四郎兼	
高橋 未来 大 長女 小根岸	
貴田 大地 幸吉 二男 伊友	

# 新年俳壇



飾・室咲・新年雑詠

太田白南風選

## 《特選》

室梅や妻の真白き割烹着

中仙田 高野仙蒼子

(評) 見事な室咲きの梅が置かれている明るい部屋、家事にいそいそと立ち回る主婦の姿、その割烹着の白さが新鮮である。室の梅に對して妻の割烹着の白さだけ浮き出してその全体の動勢と情緒を表した新鮮な心持ちが佳い。

## 《推選》

初舞の扇に伏せし額かな 發電所通り小川 京子  
 火の神の護符も新たや初かまど 足立区 駒形 頼太  
 うすうすと雪置く松の飾かな 大倉 中条 石平  
 大旦那フトしずかに動き初む 霜条 星名 星光  
 青々と葉の匂える注連飾 三領 水品 律

## 《入選》

松飾りして邸宅の静かなる 赤谷 登坂 酔月  
 夕飾りかけて明るき職場かな 小脇 佐藤 信一  
 門松に小さき氷柱の光りおり 岩瀬 登坂伊智子  
 神木の樺大木の注連飾 野口 野沢 寅生  
 室の梅咲きて商家の帳始め 岩瀬 金子 美季  
 街眠り越の三山初苗 山野田 藤田宏太郎  
 大注連の鳥居をくぐり詣でけり 小白倉 江口みゆき  
 注連飾して燈明を奉る 練馬区 須藤 遊人  
 金扇のひらく飾の門くぐる 霜条 大海 正夫  
 機窓の淡き香りや室の花 上野 内山 寛平  
 室咲きの色とりどりのサイネリア 中屋敷 小林たみい

## 昇天—ごめい福を祈る

黄梅を室より出して床の間へ 八王子市 田中 ひさ  
 拍手のひびく神殿初あかり 板橋区 田中 優美  
 平成の天空高く風の舞う 木落 丸山鉄四郎  
 可も不可もほどほどありし松飾る 中屋敷 数藤 壮一  
 新年を迎う家族の祝い膳 中島町 佐藤 左保  
 半年は経し枝ぶりや室の梅 高倉 齋木 和人  
 寒々と村の鍛冶屋の初暦 元町 金子 鉄平  
 新年を迎うころの注連飾る 厚木市 川崎 保一  
 シクラメン窓の日浴びて咲き揃い 八王子市 松浦 サク  
 蕾つけ正月待つや夏坊主 岩瀬 金子 喜美  
 木枯しの雪となりきし一夜かな 上野 入沢 はや  
 枝折れし身知らず柿や主家の留守 上町 高橋 願似  
 雪中の半年ぐらしはじまりし 木落 田口 梅野



町からの依頼を受けて、広報俳壇の選をはじめすでに二十余年になる。その間、少しでも町民の俳句という広い立場で、初心の方々も俳句が楽しめるように仕向けてきたつもりである。以来、古い人も新しい人も何人かその数を増してきたことは喜ばしいことに思う。俳句に親しむことにより四季の現象、春夏秋冬の風光に心を解めることが出来るようになる事はそれだけ心が豊かになることであり、それが心の潤いになり、生活の憩いになれば幸甚なことである。そういう心が広がっていくことを願っている。